

令和 7 年度第 1 回津島市地域公共交通運賃料金協議会 議事録

1 開催日時

令和 7 年 9 月 18 日（木）午前 9 時 15 分から午前 10 時 00 分まで

2 開催場所

津島市役所 3 階 市長公室

3 出席者

別紙「令和 7 年度第 1 回津島市地域公共交通運賃料金協議会出席者名簿」のとおり

4 議事

（1）ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験の運賃について（協議事項）

5 会議資料

- 資料 1 ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験について（津島駅～老松住宅線）
- 資料 2 通勤・通学対応実証実験 津島駅～老松住宅線 ルート図及び時刻表
- 資料 3 ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験 津島駅～老松住宅線に係る運賃について
- 資料 4 ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験について（青塚駅～永和駅線）
- 資料 5 通勤・通学対応実証実験 青塚駅～永和駅線 ルート図及び時刻表
- 資料 6 ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験 青塚駅～永和駅線に係る運賃について

6 あいさつ

【会長】

今年の 7 月に開催した地域公共交通会議において、ふれあいバスの通勤・通学対応の実証実験の概要等をご案内させていただいた。本日は、ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験の運賃についてご協議いただきたい。通勤・通学対応実証実験を実施するにあたり、運賃の設定は大変重要なため、十分なご審議を賜りたい。

7 議事要旨

（1）ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験の運賃について（協議事項）

【事務局】

《資料をもとに説明》

【愛知運輸支局】

通学定期と、普通の定期券があり、「全区間」と記載があるが、これは現行のふれあいバスでも使える定期券か、それとも実証実験の区間のみしか使えないのか。

【事務局】

今回の実証実験の区間のみしか使えない定期で考えている。

【愛知運輸支局】

津島駅～老松住宅線と青塚駅～永和駅線で実証実験の実施期間が違うが、津島駅～老松住宅線をメインで買った人たちは、青塚駅～永和駅線では、その定期は使えないのか。

【事務局】

使えない形で考えている。

【市民代表】

運賃設定の基本は今おっしゃった通りだと思うが、料金がやがて変わると思う。変わるのはいつ頃か。

【事務局】

今、巡回バス検討委員会にて協議を進めているところだが、今年度中に、新しいルートや停留所、運賃についても一定の方向性を取りまとめたいと考えている。それを決めた上で、実際にそのルートで運行し始めるのは、バスの購入等の準備期間が必要になるので、令和9年度頃からになると思う。

【市民代表】

ということは、実証実験では安くて、本格運行が始まったら急に料金が上がっていることになる。ある程度の値上げであれば、値上げしてもそれに馴染むと思うが、大きく料金が変わると、本格運行では利用しなくなるなどの変化があると思う。

【事務局】

現在の巡回バスは若年層の利用が少ないので、若年層にまずは巡回バスを知ってもらいたい、乗ってもらいたいという思いから、今回の実証実験の運賃を少し安価にしている。

昨年度、市民向けにも巡回バスに関するアンケートを実施しており、運賃についてどれぐらいの金額なら許容できるかという設問を設けた。その中で一番多かった回答は「300 円」までだったが、高校生は「200 円」までという回答が一番多かった。この結果を参考に、今後、巡回バス検討委員会の中で検討を進めていきたい。

【名鉄バス】

今回、初めてデジタルチケットを導入されるということで、今、スマホ使いこなせる高齢者も多いと思うが、最初の入口が面倒だという認識はあると思うので、丁寧な説明をお願いしたい。

【事務局】

周知の方法としては、広報紙 11 月号に巡回バスの記事を掲載し、そこに、デジタルチケットを購入できる方法や二次元コードを掲載し、二次元コードを読み取ると、購入できるページに遷移できるようにしたいと考えている。それ以外にも、市内配布用のパンフレットを作成して、その中にも二次元コードを掲載したいと考えている。

【会長】

議題 (1) のふれあいバスの通勤通学対応実証実験の運賃について、同意をいただける方は挙手をお願いしたい。

【構成員】

挙手全員。

【会長】

津島市地域公共交通運賃料金協議会設置要綱第 4 条第 6 項の規定により、同意を

いただけたものとして、この内容を地域公共交通会議に報告をさせていただく。

(2) その他

【事務局】

第2回運賃料金協議会を令和8年3月に開催し、コミュニティバスの見直しにかかる部分での運賃について協議していただこうと考えている。後日改めてお知らせするが、ご出席をお願いしたい。